



2016年9月5日

住宅の耐震化をキーワードに最新の家づくりを紹介する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」**入場無料**  
**住宅の耐震化や省エネ住宅、スマートウェルネス住宅の最新情報を一挙に発信**  
 9月17日(土) 18日(日) マリンメッセ福岡 「木と住まいの大博覧会」を同時開催

◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社(社長:平田 恒一郎、本社:神奈川県横浜市)は、9月17日(土)、18日(日)の2日間、「住まいの耐震博覧会」をマリンメッセ福岡で開催いたします。

「住まいの耐震博覧会」は住宅や暮らしに関連する企業や団体が一堂に会し、耐震化をキーワードに耐震診断や耐震補強をはじめ、地震に強い家づくりや環境、健康、高齢者に配慮した住宅、リフォームなど一般ユーザーからプロユーザーまで幅広く情報を発信する住宅総合展示会です。

これまで「住まいの耐震博覧会」内に設置していた木材ブースを「木と住まいの大博覧会」(共催:一般社団法人 木と住まい研究協会、一般財団法人 木構造建築研究所、ナイス株式会社)として発展させ「住まいの耐震博覧会」と併せて同時開催いたします。

## 熊本地震の復興支援/住宅の耐震化と防災の重要性を紹介

### ◆ 「平成28年熊本地震」建築年によって被害状況に大きな差

「平成28年熊本地震」は、4月14日のマグニチュード6.5の前震と4月16日のマグニチュード7.3の本震をはじめ、震度6弱以上の激しい揺れを7度も引き起こしました。この地震による死者は64名、住宅被害は全壊8,549棟、半壊2万7,728棟、一部損壊13万1,163棟に上るなど(8月1日現在)、熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。

熊本県益城町で(一社)日本建築学会が行った調査によると、1981年以前の旧耐震基準で建てられた建築物のうち30%が倒壊・崩壊、16.8%が大破し、小破なども含めると91.7%が被害を受けています。一方、1981~2000年の新耐震基準で建てられた

木造住宅のうち倒壊または大破となった建物は17.4%、阪神・淡路大震災を受けて2000年に改正された現行の建築基準法で建てられた木造住宅については6.5%に留まるなど、建築年によって被害状況に大きな違いが見られました。

福岡県が策定した「福岡県地域強靱化計画」では、県内主要都市に4つの断層を原因として震度6強、最大で震度7が想定される地域が存在し、建物被害は最大で全壊2万3,951棟、半壊1万251棟が予想されています。福岡県では、被害を軽減させるために2013年に83%だった住宅の耐震化率を2020年までに95%へと高めることを目標としています。

図1 熊本地震における建築物の被害状況(熊本県益城町)

構造	建築物の被害レベル	建築時期				統計
		~1981年5月	1981年6月~2000年5月	2000年6月~	時期不明	
木造	倒壊・崩壊	225 (32.1%)	73 (9.1%)	7 (2.9%)	0 (0.0%)	305 (15.7%)
	大破	124 (17.7%)	78 (9.8%)	10 (4.1%)	15 (7.7%)	227 (11.7%)
	軽微・小破・中破	322 (45.9%)	482 (60.3%)	91 (37.6%)	102 (52.0%)	997 (51.4%)
	無被害	31 (4.4%)	167 (20.9%)	134 (55.4%)	79 (40.3%)	411 (21.2%)
S造	倒壊・崩壊	2 (5.4%)	6 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (3.7%)
	大破	4 (10.8%)	8 (7.9%)	3 (7.1%)	2 (5.3%)	17 (7.8%)
	軽微・小破・中破	11 (29.7%)	33 (32.7%)	7 (16.7%)	11 (28.9%)	62 (28.4%)
	無被害	20 (54.1%)	54 (53.5%)	32 (76.2%)	25 (65.8%)	131 (60.1%)
RC造	倒壊・崩壊	2 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	2 (3.9%)
	大破	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	軽微・小破・中破	1 (14.3%)	6 (30.0%)	0 (-)	6 (25.0%)	13 (25.5%)
	無被害	4 (57.1%)	14 (70.0%)	0 (-)	18 (75.0%)	36 (70.6%)
計 (その他の構造を含む)	倒壊・崩壊	230 (30.0%)	80 (8.3%)	7 (2.3%)	0 (0.0%)	317 (13.6%)
	大破	129 (16.8%)	88 (9.1%)	13 (4.2%)	20 (7.0%)	250 (10.7%)
	軽微・小破・中破	344 (44.9%)	539 (55.9%)	105 (33.8%)	130 (45.5%)	1,118 (48.0%)
	無被害	63 (8.2%)	256 (26.5%)	185 (59.5%)	134 (46.9%)	638 (27.4%)
	小計	766 (100.0%)	965 (100.0%)	311 (100.0%)	286 (100.0%)	2,328 (100.0%)

## ◆熊本地震で被害に遭った住宅の再建相談と、ご自宅の耐震化に関する無料相談コーナー

熊本地震で住宅に被害を受けた方に対し、住宅ローンアドバイザーによる災害復興住宅融資の説明、地盤調査への対応など、住宅の復興全般にわたる幅広いご相談に応じます。また、住所を入力するだけで、インターネットを通じてご自宅のエリアの地盤情報を一目で確認できるサービスも会場に登場します。



住所を入力して検索するだけで  
自宅周辺の地盤情報が分かる  
(仙台開催時の様子)



建築士による無料の  
耐震相談を実施

## ◆住宅の耐震化を分かりやすく学ぶ場

ご自宅の耐震性能を簡単に判断できるよう、「旧耐震基準（～1981年）」「新耐震基準（1981～2000年）」「現行の新耐震基準（2000年～）」と建築年ごとの耐震性能の違いなどを、動く耐震模型を使って分かりやすく説明します。

最新の耐震改修方法や耐震補強部材などについて、天井や床を壊すことなく補強することができる木質繊維ボードや石膏ボードでつくられた耐震補強壁、既存の住宅に外側から取り付ける金物などを、ミニ躯体に実際に施工したものを展示し、分かりやすく解説します。



動く耐震模型で旧耐震基準と新耐震基準  
の耐震性の違いを学べます

## ◆耐震性・断熱性・省エネ性に優れた住宅をご提案

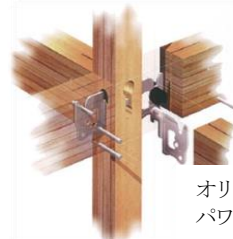
ナイスグループが手掛ける木造住宅の実物大躯体を展示します。耐震等級や長期優良住宅を上回る高い基本性能を確保し、更に太陽光発電システムを標準搭載したものです。

この実物大構造躯体を、環境や健康に優しい天然素材として注目が高まるセルローズファイバー断熱材を充填断熱に用い、木質系繊維断熱材を外張り断熱に使用した二重断熱のスマートウェルネス住宅仕様で展示します。

この住宅に採用されているパワービルド工法は、ボルトやナットを使用せずドリフトピンを打ち込む簡単な工法のため、高い熟練度がなくても均一かつ精度の高い構造体を短工期でつくることができます。住宅はもちろん学校、病院、老人ホーム、店舗といった中・大規模木造建築物など幅広い建築に採用されています。会場では、パワービルド工法によるミニチュア構造躯体の建築実演を実施します。



木造住宅の実物大構造躯体を展示



オリジナル金物の接合による  
パワービルド工法

## ◆災害時に起こり得る法律問題を専門家が分かりやすく解説

大きな地震をはじめ様々な災害に伴って起こり得る、住宅に関連したあらゆるトラブルの事例とその対応策などについて、法律の専門家が分かりやすく解説します。建築関係者をはじめ、これから家を建築しようと考えている一般ユーザーまで、無料で聴講できます。

### セミナー『地震発生時の建物をめぐる法律関係について（仮称）』

日 時：9月17日・18日、両日ともに午前1回・午後1回（時間未定）

場 所：住まいの耐震博覧会会場内、「耐震&住まい相談コーナー」

講 師：弁護士法人匠総合法律事務所 弁護士内田 創氏

参加費：無料 ※事前申し込みは必要ありません。

## 健康・省エネ・快適性に配慮した最新の住宅を紹介

### ◆健康寿命の延伸に寄与して環境にも優しいスマートウェルネス住宅を体感

超高齢化社会の日本は、日常的に介護を必要とせずに自立した生活ができる期間である「健康寿命」の延伸は最重要課題の一つとして掲げています。健康長寿社会の実現は医療・介護費の抑制による財政健全化など社会全体の幸せももたらし、国は「スマートウェルネス住宅」の普及を推進しています。

スマートウェルネスブースでは、ナイスグループが横浜市及び慶應義塾大学と共同で開設した「スマートウェルネス体感パビリオン」（神奈川県横浜市）のコンセプトに基づき、断熱の違いが体感温度や血圧などに与える影響や、木質内装が体に与える影響について体験しながら学ぶことができます。



木の持つ調湿性や調光性、調温性などについて体験しながら楽しく学びます

### ◆電力自由化時代に適合した最新の省エネルギー住宅を紹介

高い断熱性能や設備機器の省エネ性能により二酸化炭素排出量を抑制する「低炭素住宅」や、年間での一次エネルギー消費量が正味でゼロとなる「ゼロ・エネルギー住宅」について、断熱材やサッシ、各種節水機器や高効率給湯器など、必要な設備機器をパッケージ化した実物大躯体を展示します。

通気性に優れ、軽量化、省施工となる屋根一体型太陽光パネルを搭載し、蓄電池を使って昼間は電力を蓄え、夜間や災害時には住宅へ電力を供給するスマートハウスのシステムもご紹介します。



パッケージ化したゼロ・エネルギー住宅の実物大躯体を展示

### ◆安全性や機能性、省施工性に優れた商品をご提案

建材・住宅機器の有力メーカーが一堂に会し、機能性やデザイン性に優れた最新商品をご紹介します。環境配慮性に優れた商品や、省エネ・創エネ・蓄エネなどエネルギーを集中管理できるスマートハウス商材、日々のお掃除を楽にしてくれる商品などを提案します。

そのほか、ナイスオリジナルブランドである「ZENIYA」では基礎資材や大型システム収納などの省施工性に優れた商品も紹介します。

各ブースでは、プロユーザーはもちろんエンドユーザーにも分かりやすいよう、実物や映像を使用して趣向を凝らしたセミナーやデモンストレーションなどが行われます。



最新の省エネ・省施工商品を紹介いたします

#### ◆開催概要◆

名 称：住まいの耐震博覧会

日 時：2016年 9月17日（土）10：00～17：00

9月18日（日）10：00～16：00

入場料：無料

会 場：マリンメッセ福岡

主 催：ナイス株式会社

協 賛：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

後 援：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、（一社）九州経済連合会

（一社）木と住まい研究協会、（一財）強靱な理想の住宅を創る会、NPO法人住まいの構造改革推進協会

ホームページ：<http://www.nicefair.com/>



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2015

### ウッドデザイン賞 2015 林野庁長官賞受賞

ウッドデザイン賞は、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、消費者視点から優れた製品・取り組みなどを表彰するものです。「住まいの耐震博覧会」は、その上位賞である林野庁長官賞を受賞いたしました。

この件に関するお問い合わせ先\*\*\*\*\*

ナイス株式会社 広報室 宮川・堀井 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F